

本学会の沿革

1995年4月：浅間正通を分科会長として、英米文化学会にて異文化コミュニケーション研究部会を発足。

1998年4月：浅間の同学会退会に伴い、任意研究会 ICRPN（異文化理解研究プロジェクトチーム）を発足。発起人：浅間正通・西村厚子・小林猛久。

1999年4月：下記研究会理念のもとに衣替え。

「本研究会は異文化間に纏わる種々の事象に対して、現代社会との関わりを視点に多元的・多角的アプローチをもって研究を推進するリサーチ・グループである。現代社会の特質とも言える、コンピュータ・ネットワーク社会を大いに視座に据える意味からも、その活動媒体としてはメーリング・リストを最大限活用して所期の目的を図る。」

研究会名称を ICRPN から OFICE（異文化教育オンラインフォーラム）に変更。同時に規約制定。活動形態に関しては、有志からなるプロジェクト方式を採用。

2002年4月：研究会内に所掌責任者体制を敷き、円滑な活動のためのシステムを構築。

2002年9月：東海地区出身の研究会メンバーが多く名を連ねていることから、新たに研究会ならではの地域貢献を念頭に、「東海ブロック」を立ち上げ。初代ブロック長は、研究会幹事の小林猛久（現副会長）が兼任。

2004年6月：研究会名称を、異文化情報ネクサス研究会（Circle of Intercultural-information and NEXus）に改名。東海ブロックを発展的に解消。

2005年12月：研究会誌 *INEXUS* を初めて発行。

2008年11月：研究会発足10周年を記念して、北海道大学において記念大会を開催。

2009年12月：(株)英宝社が正式に研究会の賛助出版社となる。

2010年3月：研究会誌に正式に査読システムを導入。

2010年12月：12月時定例を正式に「年次大会」に格上げ。

2013年12月：年次大会において正式に異文化間情報ネクサス学会となる。本部を東洋大学朝霞キャンパス浅間研究室に、事務局を順天堂大学三島校舎山下研究室に置く。

2014年12月：異文化間情報ネクサス学会として初の学術誌『I'NEXUS』創刊号発行（ただし、号数は従来の刊号を踏襲したため第6号）。理事および幹事を選出。

2015年12月：I'NEXUSにISSN(国際標準逐次刊行物番号)を取得(ISSN 2189-7786)。

2016年12月：学会名として初のシンポジウムを開催。

2018年11月：異文化間情報ネクサス学会を名称変更し、異文化間情報連携学会となる。

2018年12月：年次大会総会において新学会の会則・規則を承認した。

II 研究会記録

第1回例会：1999年6月19日（土）16：00～17：00

日本大学歯学部前喫茶室滝沢にて開催

『異文化理解の座標軸』出版（研究会企画第1弾）第1回編集会議を開催

第2回例会：1999年8月6日（土）9:00～17:00

フローラシオン青山にて開催

『異文化理解の座標軸』出版第2回編集会議を開催

第3回例会：2000年5月28日（日）10：00～16：30

静岡大学情報学部にて開催

本例会より研究発表を主に盛り込むなど、研究会の定例化（定例研究会）へ移行

① アラカルトスタディー No. 1 浅間正通（静岡大学）

「シャノンとウィーバーのコミュニケーションモデル—現代的解釈として—」

② 研究発表

「電子メールにおける英文の特徴」 河原俊昭（金沢経済大学）

「国際結婚夫婦のコミュニケーションと相互理解」 施利平（大阪大学大学院生）

第4回定例研究会：2001年12月9日（日）

静岡大学情報学部にて開催

『国際理解の座標軸』（研究会企画第2弾）企画会議を開催

第 5 回定例研究会：2002 年 9 月 28 日（土）13：00～18：00 豊田工業大学にて開催

① アラカルトスタディー No. 2 浅間正通（静岡大学）

「日本人の英語は英国志向か米国志向か？」

② 研究発表

「オンライン翻訳サービスを利用した英語によるビジネス通信文作成の可能性」

小林猛久（静岡県立静岡中央高等学校）

第 6 回定例研究会：2002 年 12 月 23 日（月）13：00～19：00

静岡大学にて開催

① アラカルトスタディー No. 3 浅間正通（静岡大学）

「英語の語彙学習にゲーム的手法を」

② 研究発表

「細胞周期と癌形質形成」 高芸（浜松医科大学大学院生）

「市民ボランティアが創り出す草の根的異文化交流」

西村厚子（共立女子短期大学）

第 7 回定例研究会：2003 年 6 月 8 日（日）10：00～17：30

共立女子短期大学にて開催

① アラカルトスタディー No. 4 浅間正通（静岡大学）

「大学英語教育に見る新たな潮流—英語教師のサバイバル戦術—」

② 研究発表

「諸文化に見る色の意味と役割」 渡邊創一（静岡大学大学院生）

「大学テキストに見る和文注釈の必然性をめぐって—読解教材の場合—」

山下巖（静岡県立浜松西高等学校）

「Authentic Materials とリスニング—効果的な教材選択と指導方法を考える—」

伊東田恵（豊田工業大学）

第 8 回定例研究会：2003 年 12 月 20 日（日）16：00～21：00

日本出版クラブ会館にて開催

① アラカルトスタディー No. 5 河原俊昭（金沢星稷大学）

「言語とアイデンティティ—フィリピンの事例から—」

② 研究発表

「ミャンマーにおける英語教育の現状」 奥平文子(東京女子体育大学)
“Analytical Tendencies Amongst Japanese EFL Learners: Causes of a
culturally influenced cognitive approach and its impact upon second
language learning”

Derek Eberl (元浜松西高 ALT)

第 9 回定例研究会 (初の合宿研修方式による)

<初日> 2004 年 7 月 3 日 (土) 13:00~21:00

キャリアック (浜松頭脳センター) にて企画会議および異文化トレーニング研修を開催

<2 日目> 2004 年 7 月 4 日 (日) 10:00~15:00

静岡大学にて開催

① アラカルトスタディ No. 6 浅間正通 (静岡大学)

「研究助成獲得の必勝パターン」

② 研究発表

「視覚文化の考古学—文学テキストにみる写真の受容—」 中村善雄 (長岡技術科学大学)

「ヘミングウェイとセザンヌの絵画的手法と知覚世界をめぐって」 片岡洋子 (翻訳業)

「メディアリテラシー教育の導入的教材を考える」 森下博正 (浜松城北工業高等学校)

第 10 回定例研究会: 2004 年 12 月 18 日 (土) 16:30~21:00

日本出版クラブ会館にて開催

① アラカルトスタディ No. 7 浅間正通 (静岡大学情報学部)

「Flint System を用いた授業分析の現代的意義について」

② 研究発表

「旅の文化史—ラスキンとグランドツアー—」 鷲直仁 (都留文化大学)

「センター入試における『リスニング』が求める学力像」 大石倫子 (静岡大学)

第 11 回定例研究会: 2005 年 7 月 3 日 (日) 10:00~16:00

静岡大学にて開催

① アラカルトスタディ No. 8 浅間正通 (静岡大学情報学部)

「フィンランドおよび日本の高校生の携帯電話利用実態調査結果より」

② 研究発表

「コマーシャルによる社会と文化—中国の酒のコマーシャル—」

潘方（静岡大学大学院生）

「地震災害時における外国人被災者とのコミュニケーション」

児玉清史（静岡県立浜松西高等学校）

「幅広く英語を味わう授業へ」

水野晶子（拓殖大学）

「シンガポールにおける情報人材育成メカニズムについて—『統合』と『活用』

概念における人材育成」

小川勤（静岡県立静岡中央高等学校）

第 12 回定例研究会：2005 年 12 月 17 日（土） 16：30～21：00

日本出版クラブ会館にて開催

① アラカルトスタディー No. 9

村山康雄（長岡技術科学大学）

「『わけだが』と『んだけど』の違い」

② 研究発表

「電子辞書に内在する英語リテラシー疎外因子の特定とその放出」

浅間正通（静岡大学）

③ 講演

「テクニカルコミュニケーションのすすめ」

大塚賀弘（東洋大学教授）

第 13 回定例研究会：2006 年 7 月 29 日（土） 13：00～17：40

中京女子大学にて開催。

① アラカルトスタディー No. 10

浅間正通（静岡大学）

「英語学習における電子辞書の周辺」

アラカルトスタディー No. 11

「英語辞書の未来像オンライン・ディクショナリー」

須部宗生（静岡産業大学）

② 研究発表

「クリエイティブな英語授業への試み」

水野晶子（拓殖大学）

「センターリスニング試験における理解を妨げる要因

土田玲子（富士高校）

「外国語教育と情意要素」

荒尾浩子（三重大学助教授）

第 14 回定例研究会：2006 年 12 月 9 日（土） 16：00～19：00

和光大学にて開催

① アラカルトスタディー No. 12

浅間正通（静岡大学）

「定住外国人の日本語発話能力を高めるため話速変換システムの導入と機能シラバスの開発」

② 研究発表

「日本における教育改革のひとつ、特殊教育から特別支援教育へ」

滝川国芳(国立特殊教育総合研究所)

「起点と着点と主観化」

梅本孝(静岡産業大学)

第15回定例研究会：2007年7月21日(土) 13:00～17:35

静岡産業大学駅前学舎にて開催

① アラカルトスタディー No. 13

浅間正通(静岡大学)

「Euphemismの世界」

② 研究発表

「楽しい英語授業への試み」

水野晶子(拓殖大学)

③ 特別研究発表 静岡大学情報学部浅間研究室所属学生4名による発表

「異性間コミュニケーションに及ぼす性役割の影響」浦口恭平(静岡大学4年)

「高知県の活性化を促す地方自治のあり方をめぐって」中山怜(静岡大学4年)

「オンライン書店とブックランキングシステム：その深層に迫って」

鈴木俊雄(静岡大学大学院2年)

「電子辞書と英語リテラシー」

東直樹(静岡大学大学院2年)

第16回定例研究会：2007年12月15日(土) 16:00～18:30

国家公務員共済組合連合会 東京共済会館(KKR TOKYO)にて開催

① アラカルトスタディー No. 14

須部宗生(静岡産業大学教授)

「音象徴の実験と考察」

② 研究発表

「異文化の中の教員経験-カナダの教壇に立って」金子次好(浜松湖東高校)

「*Desire Under the Elms*の『欲望』についての一考察」

一ツ山藤子(静岡県立大学)

「国際補助語としての英語教育を考える」

山下巖(中京女子大学)・浅間正通(静岡大学)

第17回定例研究会：2008年4月26日(土) 16:30～17:40

国家公務員共済組合連合会 東京共済会館 (KKR TOKYO) にて開催

- ① アラカルトスタディ No. 15 浅間正通 (静岡大学情報学部教授)
「デジタル時代の仕事術」

- ② 研究発表
「情報教育の現状と課題」 中村真二 (静岡県立静岡商業高等学校教諭)
「TOEIC 入門クラスにおけるアクションリサーチ」
木村麻衣子 (武庫川女子大学共通教育部専任講師)

第 18 回定例研究会 (創立 10 周年記念大会) : 2008 年 11 月 1 日 (土) 14:00~17:00

北海道大学理学部 5 号館 2 階 10 号室にて開催

- ① 研究発表
「前置詞の意味論」 梅本孝 (静岡産業大学)
「高校生と大学生—その電子辞書活用動態の比較—」
浅間正通 (静岡大学)・松王政浩 (北海道大学)
「小学校英語の現状と課題」 須部宗生 (静岡産業大学)
「モバイルネットワーク活用型 LMS における学習コミュニティ構築の試み」
前野博 (中京女子大学)
「工学系大学における ESP 教育への取り組み」 伊東田恵 (豊田工業大学)
「外国籍生徒対応型英語教育システム実施に伴う問題点」
山下巖 (中京女子大学)
「中国の義務教育における格差についての実証研究」 小川勤 (山口大学)
「19 世紀アメリカ作家と写真」 中村善雄 (ノートルダム清心女子大学)
「ビジネスコミュニケーションの評価基準」 小林猛久 (和光大学)

第 19 回定例研究会 : 2008 年 12 月 20 日 (土) 14:20~17:00

静岡産業大学経営学部磐田駅前学舎にて開催

- ① アラカルトスタディ No. 16 浅間正通 (静岡大学)
「映画のタイトル : 洋題から邦題に変わる時」
② 研究発表
「SE とはどんな職業か？」 鈴木俊雄 (株ハイテクシステムズ)
東直樹 (エヌ・ティ・ティ・システム開発株)

- 「Web2.0、その解釈と展望」 前野博（中京女子大学）
「静岡産業大学における英語教育の実践例」 梅本孝（静岡産業大学）
「企業における電子コミュニケーション」 西岡久充（和光大学）
「人間と動物との関係史—動物考古学の概要」 内山幸子（中京女子大学）

第 20 回定例研究会：2009 年 6 月 21 日（日） 13：00～15:40

豊田工業大学にて開催

- ① アラカルトスタディー No. 17 小川勤（山口大学教育センター教授）
「世界の教育改革動向と地域間格差」
② 研究発表
「TOEIC は本当に英語力を測れるのか—教育現場での活用法と提案」
井口妙子・河合亜弥子（ATP Education）
「LMS を活用したブレンド型学習コミュニティの形成—LMS のフォーラム機能を用いた協調的方略による自律的学習動機獲得の試み」
前野博（中京女子大学人文学部助教） 山下巖（中京女子大学人文学部准教授）
「小学校英語活動必修化に伴う課題と展望」
浅間正通（静岡大学情報学部教授）

第 21 回定例研究会：2009 年 12 月 19 日（土）14:00～17:25

フローラシオン青山にて開催。

- ① アラカルトスタディー No. 18 浅間正通（異文化情報ネクサス研究会会長）
「道徳と宗教—異文化コミュニケーションの視点から—」
② 研究発表
「歯科における情報社会化について」
渡邊創一（静岡県歯科医師会事務局主事）
「Podcast と Moodle の連携による課題配信について」
山下巖（中京女子大学人文学部准教授）
「小学校外国語活動の進め方」
稀代嘉規（千葉県教育庁東葛飾教育事務所指導主事）
「ジェンダーの視点を取り入れた異文化理解教育の実践報告」
西村厚子（共立女子大学短期大学部准教授）

「不思議現象と幼児の知的探究心」 塚越奈美（中京女子大学人文学部助教）

「人を怒らせるメカニズム—言語学からのアプローチ—」

田村敏広（静岡大学情報学部助教）

第 22 回定例研究会：2010 年 6 月 19 日（土）13:30～18:30

共立女子短期大学開催。

① アラカルトスタディ No. 19 須部宗生（静岡産業大学）

「対句表現における語順決定要因について」

アラカルトスタディ No. 20 浅間正通（異文化情報ネクサス研究会会長）

「国際社会を生き抜く発想力」

② 研究発表

「日本のアジア圏人材獲得戦略」 功宏偉（こうこうい）（静岡産業大学学部生）

「宗教社会学的視座から見る現代宗教」 村上晶（筑波大学大学院）

「明意としての敬語表現」 小泉ゆう子（和光大学）

「成功の方程式」 村田幸則（藤田保健衛生大学）

「ヘンリー・アダムズと秩序の夢」 阿部敬子（早稲田大学）

「“Who Am I?”と問うこと - The Bear That Wasn't を用いた授業実践の試み -」

大森夕夏（早稲田大学）

第 23 回定例研究会：2011 年 4 月 16 日（土）13:30～18:30

順天堂大学保健看護学部にて開催

① 研究発表

「子どものところに寄り添うために～カウンセリング入門～」

塚越奈美（山梨大学）

「敬語と情報性について」 小泉ゆう子（和光大学非常勤講師）

「e-learning を用いた自律学習支援に関する一考察」 田中裕実（順天堂大学）

「ベルマークから見える「国際協力」」 佐野哲子（オイスカ高等学校）

② 研究会プロジェクト概要説明

「東北関東大震災支援シーズ発掘特別セッション—CINEX にできる何かを探
索して—」 プロジェクトリーダー：浅間正通 会長

「異文化エッセープロジェクトについて」

プロジェクトリーダー：浅間正通 会長

「テキストプロ 9 について」

プロジェクトリーダー：山下 巖 学術研究部長

第 24 回定例研究会：2011 年 8 月 20 日（土）13:30～18:30

豊田工業大学にて開催

① 研究発表

- 「目の前にいる生徒たちの意欲が向上するような授業デザインとは？ — 高等学校普通教科「情報 A」の授業実践を通して — 嶋道彦（オイスカ高等学校）
- 「三島南高校での活動報告」 赤堀憲吾（三島南高等学校）
- 「英語教育におけるドラマの応用」 清水絹代（立教大学）
- 「産学連携による人材育成の事例紹介」 小林猛久（和光大学）

② アラカルトスタディ No. 21

浅間正通（静岡大学教授）

「文系研究と科研費」

第 25 回定例研究会：2012 年 4 月 22 日（土）13:30～18:30

静岡大学浜松キャンパスにて開催

① アラカルトスタディ No. 23

須部宗生（静岡産業大学教授）

「オーストラリア英語と辞典」

② 実践報告（2011 年度 文部科学大臣優秀教員表彰を振り返って）

「地域に学ぶプロジェクト学習 — 与えられる学びから意志ある学びへ —

中村真二（静岡県立静岡商業高等学校）

③ 研究発表

- 「文学に学ぶ異文化ビジネス」 清水絹代（青山学院大学）
- 「知識とスキーマについて」 村田幸則（藤田保健衛生大学）
- 「『高校英語、授業は英語で』はどこまで？ — 英語教育に全てをかける —

前田昌寛（石川県立金沢桜丘高校）

④ 被災地支援間接支援プロジェクト企画説明

プロジェクト総責任者 浅間正通（静岡大学教授）

⑤ エッセープロジェクト第 2 弾企画説明

プロジェクト総責任者 浅間正通（静岡大学教授）

第 26 回定例研究会：2012 年 8 月 25 日（土）13:30～18:30

ノートルダム清心女子大学にて開催

① 研究発表

「小学校における体験的学習を通してのグローバル教育」 荒尾浩子（三重大学）

「コンテンツ共有サイトが音楽・動画などの著作権の経済価値に与える影響に関する一考察」 小林猛久（和光大学）

「文明と迷信の間—*The World That Isn't* における欧米の迷信分析」

大森夕夏（東京電機大学）

「19 世紀の大衆的視覚文化と眼差しの変容」

中村善雄（ノートルダム清心女子大学）

「小学校外国語活動（英語）における電子辞書の教育利用に関する一考察」

浅間正通（静岡大学）

第 27 回定例研究会：2013 年 4 月 20 日（土）14:30～17:50

順天堂大学にて開催

① 研究発表

「英語の授業を活かす授業へ—カナダの大学で学んだこと」

佐野哲子（オイスカ高等学校）

「多種教材を用いた米文学作品講読の試み—『偉大なるギャツビー』の場合—」

阿部敬子（早稲田大学）

「振り込め詐欺の社会言語学—会話分析を中心に—」 田村敏広（静岡大学）

「日本企業における英語業務の必要性和言語タスクによる自己評価の分析」

伊東田恵（豊田工業大学）

② アラカルトスタディ No. 24

浅間正通（東洋大学）

「語彙から捉えた現代英米比較文化論」

第 28 回定例研究会：2013 年 8 月 24 日（土）14:00～17:30

至学館大学にて開催

① 研究発表

「iPlaza（国際交流プラザ）の設置とその活動—体験型活動を取り入れた異文化コミュニケーション能力向上への試み—」 伊東田恵（豊田工業大学）

「学校教育における現代的課題について」 荒尾浩子（三重大学）

「オンライン学習コミュニケーションと自律学習」 前野博（至学館大学）

「韓国における産学連携による人材育成に関する一考察」 小林猛久（和光大学）

「Frank Tashlin の風刺の世界」 大森夕夏（東京電機大学）

「19世紀の鉄道表象とアメリカ文学」 中村善雄（ノートルダム清心女子大学）

② アラカルトスタディ No. 25 浅間正通（静岡大学名誉教授・東洋大学教授）

「諸外国の早期英語教育手法にみる「小学校外国語活動」への応用可能性について」

第 29 回定例研究会：2014 年 4 月 26 日（土）14:30～18:50

和光大学にて開催

① アラカルトスタディ No. 27 小林猛久（和光大学）

「産学官連携による人材育成の現状と課題－日本・韓国・シンガポールの実態を踏まえて－」

② 研究発表

「世代と文化－millennials（digital natives）のゆくえ－」

時松賢二（東洋大学）

「英語の学力を伸ばすには－英語が苦手な生徒を指導して思うこと－」

皆川健次郎（東海大学）

「文学の立場からとらえた日本の英語教育と異文化理解教育」

本多まりえ（東洋大学）

“From Institution to Community: Current trends of Mental Health Service for At-risk Youth“

安富勇希（コベリティ インク）

「CINEX に寄せる想い」

笹本浩（日本オラクル株式会社）

「看護倫理と医療倫理」

長沼淳（順天堂大学）

第 30 回定例研究会：2015 年 4 月 25 日（土）14:00～18:15

順天堂大学にて開催

① 研究発表

「Cynthia Ozick の作品における imagination と interpretation の関係」

大森夕夏（東京電機大学）

「日本文化の特質」 時松 賢二(東洋大学)

「異性装の政治学—エレン・クラフトの奴隷体験記—」

中村善雄(ノートルダム清心女子大学)

「マーケティング視点から見たシンガポールの歩み」 笹本浩(日本オラクル)

『英米対話捷徑』、その現代的意義 浅間正通(東洋大学)

② アラカルトスタディー No. 29 西村厚子(共立女子短期大学教授)

「ジェンダーの視点で考える国際理解」

第 31 回定例研究会：2015 年 9 月 19 日（土）13:00～17:00

東洋大学にて開催

① アラカルトスタディー No. 30 浅間正通(東洋大学教授)

「今なぜ就活力として英語力が問われるのか—その顕在的意義と潜在的意義を俯瞰して—」

② 研究発表

「クラスルームコーパスから見られる学習環境と理解の関係」

大橋由紀子(ヤマザキ学園大学)

“The Possibility of Developing the Intercultural Competence in Language Learning Classroom“

猪口綾奈(東京大学)

「援助職者における被暴力予防のための知識と技術」

酒井太一(順天堂大学)

"Impact of family connections; New approach for at-risk youth with permanency work"

安富勇希(日本シノプシス)

「セルフ・カウンセリング理論に基づいたビジネスコミュニケーション能力の評価に関する考察」

小林猛久(和光大学)

第 32 回定例研究会：2016 年 4 月 16 日（土）14:00～18:25

和光大学にて開催

① 研究発表

「英語版ビブリオバトルによるコミュニケーション力強化の試み」

阿部敬子(早稲田大学)

「ICT 支援による効果的な授業運営の試み」

西岡久充(龍谷大学)

「E-learning システムを活用したビジネスコミュニケーション能力育成の試み」

小林猛久(和光大学)

「託宣」が「現実」になる過程 —津軽地方の集落行事を事例として—

村上晶（白百合女子大学）

「教育」と「学び」 —ミャンマーを事例として— 奥平文子（明治大学）

② アラカルトスタディ No. 32 浅間正通（東洋大学）

「SGU—東洋大学朝霞キャンパスの挑戦」

第 33 回定例研究会：2016 年 9 月 24 日（土）14:00～17:40

豊田工業大学にて開催

① 研究発表

「意見を引き出すアクティブ・ラーニングの実践」 大森夕夏（東京電機大学）

「学習指導要領改訂案から見えてきた英語教育、情報教育の方向性について」

中村真二（静岡県立小山高等学校）

「アングロ・サクソン期のイングランドにおけるゲルマン民族の異教文化について」

和田忍（東京都市大学）

「自己決定権の射程—インフォームド・コンセントから考える—」

長沼淳（順天堂大学）

「ロボット技術と健康—公衆衛生の視点から—」

酒井太一（順天堂大学）

第 34 回定例研究会：2017 年 4 月 15 日（土）13:30～17:30

順天堂大学にて開催

① 研究発表

「マルチメディア教室を利用したアクティブ・ラーニングの試み」

西村厚子（共立女子短期大学）

「英語の比喩表現と Japanglish について」 伊藤由起子（東京電機大学）

「発想転換のグローバルコミュニケーション

—アカデミックプロジェクト No.9 を視野に入れて—」 浅間正通（東洋大学）

「日本人学習者が英語スピーキング習得が苦手なワケ」 荒尾浩子（三重大学）

「国際バカロレアと異文化理解教育」 大森夕夏（東京電機大学）

② アラカルトスタディ No. 34

「科研費採択・連続採択のためのコアチップス」

中村善雄（ノートルダム清心女子大学）・山下巖（順天堂大学）

浅間正通（東洋大学）

第 35 回定例研究会：2017 年 9 月 30 日（土）14:00～18:00

和光大学にて開催

① 研究発表

- 「体育科教育学の概要」 小野澤尚也(清和短期大学)
- “Beyond the Textbook: How to Motivate Students to Prepare for the TOEIC Test” 安富勇希(静岡大学)
- 「グローバル人材の資質とその育成方法の一考察題」 小林猛久(和光大学)
- 「看護基礎教育における「主体的学習集団」形成の視点」 酒井太一(順天堂大学)

② アラカルトスタディ No.35

- 「写真でみる現代レバノン事情」 浅間正通(東洋大学)

第 36 回定例研究会：2018 年 4 月 21 日（土）13:30～18:15

順天堂大学にて開催

研究発表

- 「グローバル先進国 シンガポールの挑戦ー試練を繁栄に変えた逆転発想の世界観ー」 笹本浩(日本オラクル)
- 「多価値を認めながら互いに支え合う柔らかなコミュニティーマレーシア・クチン市の場合ー」 安富勇希(静岡大学)
- 「「やさしい日本語」が誘う内なる国際化ーグローバルコミュニケーションの新たな態様としてー」 伊東田恵(豊田工業大学)
- 「グローバル時代の外国語教育ー非母語話者同士の英語コミュニケーションー」 西村厚子(共立女子短期大学)
- 「インバウンド対応から捉えたアクセシビリティ再考ー海外旅行者が日本国内を快適に移動するためにー」 長沼淳(順天堂大学)
- 「進展する介護職のグローバル化ー日本型対応としての介護従事者受け入れ施策ー」 榎本桂子(順天堂大学)
- 「病のボーダレス化、そして健康のグローバル化ー結核を切り口に考える「健康基盤型社会」へシフトー」 酒井太一(順天堂大学)
- 「在住外国人の End of Lifeー最後まで“自分らしく”を支えるためにー」 林亮(順天堂大学)

第 1 回年次大会：2010 年 12 月 18 日（土）16:00～18:45

日本出版クラブ会館にて開催。

① 新入会員研究発表

- 「実用英語の視点から捉えた中国の高級中学における課題と展望」

李洪娟(静岡大学大学院生)

- 「公開型日本語 Web 学習教材の効果を高める Blended Learning」

植田育子（静岡大学大学院生）

② 情報系ワーキンググループ企画構想発表会

「進化するモバイルコミュニケーションと情報活用能力」

西岡久充（和光大学）

「モバイル・コンピューティングが築く新しい教育の可能性」

小川勤（山口大学）

「グローバル・ビジネスとコミュニケーション・スキルー「英語嫌い」から国際派エンジニアへー」

伊東田恵（豊田工業大学）

「情報のインターアクションー解釈から見えるものー」小泉ゆうこ（和光大学）

「アナログ対デジタルー英語学習法の比較ー」木村麻衣子（武庫川女子大学）

「ネオ・デジタルネイティブとの関わり方ー世代を超えたコミュニケーションカー」

山下巖（順天堂大学）

「文学作品に学ぶ組織とリーダーシップ」

清水絹代（立教大学）

「デジタル教科書の可能性」

荒尾浩子（三重大学）

第2回年次大会：2011年12月17日（土）14:00～18:30

早稲田大学にて開催

① 講演

「高校英語教育における課題についてー英語の研究会運営から見えてくることー」

全英連会長 桑原洋（東京都立田園調布高等学校校長）

② 研究発表

「中日間国際観光における異文化交流の課題と展望」

霍玉娟（静岡大学大学院修士課程）

「PBLを導入した情報人材の育成」

中村真二（静岡県立静岡商業高等学校）

「Warm-up 時の工夫（公立中学校での実践）」

稀代嘉規（千葉県鎌ヶ谷市立第五中学校）

「学習支援機能を内包したメタ・ポートフォリオ・システムー至学館大学“人間力開発ノート”ーその構築と運営ー」

前野博（至学館大学）

「宗教文化士と異文化理解」

村上晶（筑波大学大学院博士課程）

「英語教育におけるピア・ティーチングの試みについて」

呉春美（神奈川大学）

- ③ アラカルトスタディー No. 22 浅間正通 (静岡大学教授)
「フランスの小学校英語教育事情—視察レポート—」

第3回年次大会：2012年12月15日(土)14:00～19:05

共立女子学園にて開催

① 研究発表

「外国語学習・教授評価のためのCEFRと日本への文脈化」

片岡俊彦(静岡大学院生)

「高校情報科目におけるティームティーチング—英語科主体の情報教育—」

金子次好(静岡県立磐田南高等学校)

「大学改革と教育情報(Institutional Research)」 小川勤(山口大学)

“When There is Only Hope: the story of an elementary school and the
Funakoshi fisherman” Derek Eberl (京都ノートルダム女子大学)

「英文法テストの結果分析と英文法指導」 富田尚(富山高等専門学校)

② 講演

「コミュニケーションをデザインする」

藤田寿浩(ブルックスタジオ代表・常葉学園大学講師)

③ シンポジウム

『コミュニケーション・リテラシーの諸相 —多価値な時代のアナログ知—』

(情報系分野代表)： 前野博 (至学館大学)

(語学・文学系分野代表)： 中村善雄 (ノートルダム清心女子大学)

(実務教育系分野代表)： 小林猛久 (和光大学)

(社会学系分野代表)： 浅間正通 (静岡大学)

*****正式に学会として発足*****

第1回異文化間情報ネクサス学会年次大会：2013年12月21日(土)13:50～18:50

共立女子学園にて開催

(研究会改め学会昇格)

① アラカルトスタディー No. 26

山下巖(順天堂大学)

「互恵性と学習者オートノミーを育む E-Tandem 学習の試み」

② 講演

「総合商社の傍流を歩んだ 30 余年、そして超々零細企業経営の苦節 20 年」

羽田栄（ユーロテクノ社長・元住友商事部長）

③ 研究発表

「インターネットにおけるデジタルネイティブの発信態様に関する研究」

余力（静岡大学大学院生）

「大学生の ICT 利用を考慮した初期情報教育」

西岡久充（龍谷大学）

「グローバル人材育成のための体験型学習環境構築への取り組み」

伊東田恵（豊田工業大学）

「絵本における共同体験 —語りと視座のシフト—」

田村敏広（静岡大学）

「グローバルコミュニケーション —英米比較文化論からの視座—」

浅間正通（東洋大学）

第 2 回異文化間情報ネクサス学会年次大会：2014 年 12 月 20 日（土）12:55～18:30

早稲田大学にて開催

① 講演

「ネット時代のテレビ番組制作とは」

松本 康男（NHK 番組編成局エグゼキュティブ・プロデューサー）

② アラカルトスタディ No. 28

浅間正通（東洋大学）

「科研費採択課題にみるテーマ設定の特質とチャレンジ領域」

② 研究発表

「ディベートとビブリオバトルによる大学生の論理的思考力とコミュニケーション育成」

須部宗生（静岡産業大学）

「IELT の出題傾向分析とその受験対策—ビデオ教材を活用して」

田中宏実（順天堂大学）

「日本人はなぜ『真面目』なのか？」

東洋大学異文化理解研究会

「これからの情報教育」

中村真二（静岡県教育センター）

「医療現場で役立つ英語教育実践に関する一考察」

服部しのぶ（藤田保健衛生大学）

「多国籍組織における真のグローバル人材」

古西美佐子（立教大学）

「東京都教育委員会の英語教育への新たな取り組みについて」

桑原洋（東京都教育委員会）

「Web コンテンツが急増する時代—オンライン情報発信に求められる表現形式
とは—」

笹本浩（日本オラクル）

第3回異文化間情報ネクサス学会年次大会：2015年12月19日（土）13:00～19:05

順天堂大学にて開催

① 講演

「天文国際プロジェクトにおける日本人のプレゼンス」

齋藤正雄（野辺山宇宙電波観測所所長）

② アラカルトスタディ No. 31

浅間正通（東洋大学）

「私説 — 英語という言語体系、その冗長性・硬直性・明示性の内側 —」

③ 研究発表

「大学での英文法の再教育について」

小泉ゆうこ（和光大学）

「精神看護学の視点から見た *Long Valley* の女性たち—イライザアレンの場合—」

山下巖（順天堂大学）

「TOEIC 演習教科書の e ラーニング化 — ブレンディッド・ラーニングのために —」

田中康夫（(株) ニュートン e ラーニング主任研究員・明治大学非常勤講師）

「高等学校における情報教育の現状と課題」

赤堀憲吾（沼津東高等学校）

「消費ブームから見た変化している中国」

陳麗華（至学館大学）

“Motivation and Communicative Competence”

Andrew Gergely（金沢工業大学）

「グローバルビジネスにおけるプロトコール」

古西美佐子（立教大学）

「自律的協調学修の成因」

前野博（至学館大学）

第4回異文化間情報ネクサス学会年次大会：2016年12月17日（土）13:00～17:30

東京電機大学にて開催

① 特別シンポジウム

『大学教育への現時代的要請 — グローバルコミュニケーション能力の築き方 — 』

- 「英語教育の視点から」 伊東田恵（豊田工業大学）
 「ビジネス教育の視点から」 小林猛久（和光大学）
 「情報教育の視点から」 前野博（至学館大学）
 「異文化教育の視点から」 浅間正通（東洋大学）

② アラカルトスタディ No. 33

- 「フィンランド研修報告」 <コメンテーター 浅間正通>
 発表者：小堀吐夢他・稲葉 晃・深海優里・廣田拓也
 （東洋大学異文化理解研究会・団体会員）

③ 研究発表

- 「ポートフォリオの導入と L2 自己の発達」 山下巖（順天堂大学）
 「モバイル時代の文章作法 — アナログコンテンツとデジタルメディアの今日的協調 —」 笹本浩（日本オラクル）
 「機会が奏でる音と書くことへの新入性 — Henry James の後述筆記 —」
 中村善雄（ノートルダム清心女子大学）
 「シンガポール人大学生の言語使用」
 原田慎一（立教女学院短期大学）
 「大学が取り組むべき課題 — 4つのキーワードから考える —」
 小川勤（山口大学）

第5回異文化間情報ネクサス学会年次大会：2017年12月14日（土）13:00～18:30

早稲田大学にて開催

① 特別海外研修報告

- 『苦悩する国家 — 現代レバノン最新事情 —』 浅間正通（CINEX 会長）

② 研究発表

- 「please の使用法を考える — 歴史的観点からの展開 —」
 和田忍（東京都市大学）
 「書くことによるコミュニケーション力を高める手立て — Conversation Journal の活用 —」
 稀代嘉規（鎌ヶ谷市立第三中学校）
 「シンガポール標準英語とシングリッシュのダイグロシア — 中華系シンガポール人大学生の言語選択 —」
 原田慎一（立教女学院短期大学）

“Speak up, speak out !: Challenging non expressiveness in Japan”

Blair Thomson (東洋大学)

「フィンランドの大学との提携研究から見えた高齢者に寄り添うロボットの未来」
山下 巖 (順天堂大学)

「小児慢性疾患児の自立支援」
林 亮 (順天堂大学)

「雑談から気づきへの誘い — オンライン協調学修環境を通して —」
前野博 (至学館大学)

***** 学会関連研究業績 *****

1. 著書

(1) 『異文化理解の座標軸』日本図書センター，2000年。

編著者 浅間正道

著者 河原俊昭 川村義治 井上愛子 西村厚子 小林猛久

(2) 『情報社会のネオスタンダード』創友社，2002年。(日本図書館協会選定図書)

編著者 浅間正道

著者 伊東田恵 森下博正 川村義治 河原俊昭

(3) 『国際理解の座標軸』日本図書センター，2004年。

編者 浅間正道

著者 川村義治 西村厚子 伊東田恵 山下巖 鷺 直仁 渡邊創一
松王政浩 植野嘉苗 小林猛久 奥平文子 河原俊昭

(4) 『人間理解の座標軸』日本図書センター，2005年。

編著者 浅間正道

著者 河原俊昭 伊東田恵 山下巖 小林猛久 鷺 直仁 小川 勤
中村善雄

森下博正 片岡洋子 後藤田遊子

(5) 『デジタル時代のアナログカー問われる現代社会の人間力—』学術出版会，
2008年。(日本図書館協会選定図書)

編著者 浅間正通 山下 巖

著 者 前野博 中村善雄 浅間正通 山下巖 小川勤 荒尾浩子
土田玲子 金子次好 梅本孝 鷺直仁 片岡洋子 伊東田恵
小林猛久 須部宗生 渡邊創一 東直樹 鈴木俊雄

(6) 『デジタル時代のクオリティライフ—新たに見つめるアナログカー』 遊行社,
2016年。

編著者 浅間正通

著 者 浅間正通 前野博 笹本浩 小林猛久 酒井太一 長沼淳
小川勤 伊東田恵 中村真二 山下巖 安富勇希 古西美佐子

2. 英語テキスト

(1) 浅間正通 (編著) 『Face It—異文化への視線—』 南雲堂, 2001年。

浅間正通 コリン・スロス 河原俊昭 川村義治 西村厚子 水野晶子

(2) 浅間正通 コリン・スロス (編著) 『Cultural Conundrums—異文化の戸惑い—』 英宝社, 2003年。

浅間正通 コリン・スロス 河原俊昭 水野晶子 西村厚子 伊東田恵

(3) 浅間正通 (編著) 『Writing Towards America—米国留学プラクティカル・ライティング—』 英宝社, 2004年。

浅間正通 伊東田恵 奥平文子 小林猛久 溪村和明 西村厚子 水野晶子
山下 巖 Michael Boyce Derek Eberl

(4) 浅間正通・水野晶子 (編著) 『Interactive Disclosure—自文化発信のアプローチ—』 南雲堂, 2005年。

浅間正通 水野晶子 伊東田恵 片岡洋子 Michael Boyce 西村厚子
奥平文子 山下巖 鷺 直仁 松島加奈子

(5) 浅間正通 Michael Boyce MG Shefftal (編著) 『Japan Faces the 21st Century: 変わりゆく日本—現代社会の試練』(プロジェクト版) 英宝社, 2007年。

浅間正通 Michael Boyce 荒尾浩子 水野晶子 中村善雄 大石倫子
Derek Eberl 山下 巖

(6) 『Japan Faces the 21st Century : 変わりゆく日本—現代社会の試練』(市販公開版) 英宝社, 2007年。

浅間正通 Michael Boyce 荒尾浩子 水野晶子 中村善雄 大石倫子
Derek Eberl

(7) 浅間正通・山下巖・Derek Eberl (編著) 『Around the Globe 異文化理解のための総合英語』, 2010年。

浅間正通 山下巖 Derek Eberl 中村善雄 小林猛久 須部宗生 荒尾浩子 梅本孝 木村麻衣子 桑原洋 増田玲子

(8) 浅間正通・伊東田恵 (編著) 『Go for the TOEIC TEST 実践 TOEIC コンパクト演習』英宝社, 2011年。

浅間正通 伊東田恵 荒尾浩子 河合亜弥子 小泉ゆう子 小林猛久 須部宗生 田村敏広 Derek Eberl 中村善雄 山下巖

(9) 浅間正通・Nicholas Lambert (編著) 『Go for the TOEIC TEST [Revised Version] 実践 TOEIC コンパクト演習【改訂版】』

浅間正通 伊東田恵 小泉ゆう子 田村敏広 中村善雄 木下ひろみ 服部しのぶ 本多まりえ (執筆協力者: 荒尾浩子 小林猛久 Derek Eberl 山下巖) 英宝社, 2014年。

(10) 山下巖・西村厚子・浅間正通・Derek Eberl (編著) 『Global Business Trends 英語で見る世界の大学生の就職状況』南雲堂, 2014年。

山下巖 西村厚子 中村善雄 須部宗生 浅間正通 田中裕実 佐野哲子 田村敏広 Derek Eberl

3. 学会誌・研究会誌

(1) 異文化情報ネクサス研究会 『I'NEXUS』 No.1, 2005年。

(2) 異文化情報ネクサス研究会 『I'NEXUS』 No.2, 2008年。

(3) 異文化情報ネクサス研究会 『I'NEXUS』 No.3, 2010年。

(4) 異文化情報ネクサス研究会 『I'NEXUS』 No.4, 2011年。

(5) 異文化情報ネクサス研究会 『I'NEXUS』 No.5, 2013年。

(6) 異文化間情報ネクサス学会 『I'NEXUS』 No.6, 2014年。

- (7) 異文化間情報ネクサス学会『I'NEXUS』No.7, 2015年。
- (8) 異文化間情報ネクサス学会『I'NEXUS』No.8, 2016年。
- (9) 異文化間情報ネクサス学会『I'NEXUS』No.9, 2017年。

4. その他

- (1) 「静岡県在住外国人のコミュニティ所属意識に関する実態調査研究」財団法人静岡総合研究機構学術研究推進事業費補助金助成報告(研究代表者浅間正通), 2004年(2003年1月29日付中日新聞にて関連記事掲載)。
- (2) 『異文化の戸惑い』の一部が名古屋工業大学後期日程入試問題に採用される。これにともない, 河合出版より『2004年度版大学入試小論文入試問題集』に採録。
- (3) 『異文化の戸惑い』の一部が追手門学院大学入試問題に採用される。これにともない, 教育出版より『2006年度版追手門学院大学入学試験問題集』に採録。
- (4) 『異文化の戸惑い』の一部札幌学院大学入試問題に採用される。これにともない, 教学社より(俗称赤本)『大学入試シリーズ 札幌学院大学 2007』に採録。

現在に至る